

鹿嶋市

KASHIMA City

■概要／人口:67,320人

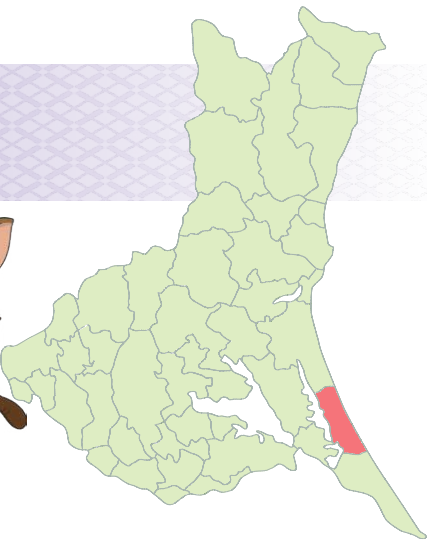
年間観光入込客数:2,678,300人

■由来／船をつなぐ杭を打った島、戕(か)島(かし)が転訛して「鹿島」になったという説をはじめ、『常陸国風土記』に使用された「香島(かおるしま)」や、神に関する「神の島」「鹿の島」「麋の島」などを由来とする説など、諸説あります。平成7年、鹿島町と大野村の合併の際、佐賀県鹿島市が既に存在していたことから、「島」を「嶋」とし、鹿嶋市が誕生しました。

■市の花／はまなす 木／松 鳥／ぎじ



ぼくでん・ナスカちゃん



北浦と太平洋に挟まれた水と緑の自然が豊かな鹿嶋市は、サッカーJリーグの鹿島アントラーズの本拠地として知られています。また、鹿島ハイツ、ト伝の郷運動公園、カシマススポーツセンターなどスポーツ施設の充実ぶりは目を見張るものがあります。また、鹿嶋市を代表するのは東国三社の一つの鹿島神宮です。皇紀元年(紀元前660)に創建され、武の神様として広く信仰を集め、塚原卜伝など剣聖を生んだ地として知られています。江戸時代には徳川家の崇拝を受け、国宝の直刀をはじめ、数多くの文化財があります。

観光カレンダー

3月9日	祭頭祭
6月第2日曜日	古武道奉納演武大会
8月下旬	鹿嶋市花火大会
9月1日・2日	提灯まち・神幸祭
9月2日(12年に1度、午年に開催)	御船祭

鹿島アントラーズ

J1リーグの強豪クラブ

鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市を中心とする近隣地域をホームタウンとするサッカーチーム。チーム名の「アントラー(antler)」は英語で鹿の枝角を意味し、鹿島神宮の神鹿にちなみ、枝角は茨城県の茨をイメージしています。マスコットはシカをモチーフにした「しかお」「しかこ」「アントン」。



スポット

県立カシマサッカースタジアム



スポット

約4万人収容の鹿島アントラーズのホームスタジアム。併設のサッカーミュージアムでは、選手ユニフォームなどが展示され、チームの歴史が分かるようになっています。2020年オリンピック会場です。

海水浴場



スポット

県内でも屈指の透明度を誇る下津海水浴場と砂浜が広く波が穏やかな平井海水浴場。海水浴期間中、両海水浴場にはライフセーバーが常駐しており安全に海水浴を楽しめます。

大野潮騒はまなす公園

高さ77mの展望塔が目印

360度のパノラマが楽しめる「宇宙展望塔」や平成24年度に導入された最新のプラネタリウム、鹿嶋の暮らしの今昔を展示する郷土資料館がある公園。広大な園内には海に向かって滑り降りる全長154mの「ローラーすべり台」をはじめ、ザイルクライミングのある子ども広場、自然の沢を利用した溪流散策路、弁天池のある水と憩いのひろばなどがあります。



スポット

栽培漁業センター



スポット

ヒラメや鹿島灘はまぐり、アワビなどの稚魚や稚貝の生産、放流を行っている施設。茨城県の栽培漁業などの取り組みについて、展示水槽やパネル、ビデオなどで紹介する展示施設もあります。

鹿島アントラーズクラブハウス



スポット

ファンとチームの交流の場となるカフェやショップ、夜間照明を完備した4面もの練習グラウンドやトレーニングルームを備えた施設。観客席からは選手の練習風景を見ることが出来ます。

一般社団法人アントラーズホームタウンDMO

スポーツツーリズムのこころお任せ!

スポーツのまち鹿嶋市には、毎年多くの方がスポーツ合宿でも訪れています。一般社団法人アントラーズホームタウンDMOは、鹿行5市、民間4社による官民一体の法人で、鹿行地域のスポーツを軸としたツーリズム事業を中心に地域経済の活性化を目指しています。



スポット

日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区

世界最高水準の技術力

昭和43年に操業開始、鹿島港に面した鹿島臨海工業地帯に立地。鋼板ならびに建材の製造拠点として、自動車・家電向けの薄板鋼板を中心に、厚板鋼板、銅管、形鋼など、付加価値の高い製品を製造し、かつ世界トップレベルの生産性を併せ持つ鉄鋼一貫製鉄所です。また、生産面だけでなく、周辺環境を大切にしているクリーンな製鉄所を目指しています。



スポット

鹿島神宮

日本建国・武道の神様である「武甕槌大神」を御祭神とする神社。現在の社殿は徳川二代将軍の秀忠により、また奥宮は徳川家康、楼門は水戸初代藩主徳川頼房により奉納されたもので、いずれも重要文化財となっています。息栖神社、香取神宮とともに東国三社と呼ばれ古くから信仰を集めており、東国三社巡りツアーも行われています。また、皇室や鎌倉幕府の源頼朝をはじめ、徳川幕府の徳川家康や、水戸藩の徳川光圀公などに崇拝されていました。人生を転換するターニングポイントの作用を持ち、邪魔するものをはねのけ進むパワーを持つ、勝利の武神・武甕槌大神のご神気が息づくスポットです。



スポット



「東国三社」の一つ

塚原卜伝

宮本武蔵との「なべぶた試合」の講談で知られる塚原卜伝(1489年～1571年)は、鹿島新当流の開祖。將軍足利義輝や伊勢国司北畠具教(きたばたけのものり)らの指南役も勤めました。JR鹿島神宮駅の近くには、その偉大な功績を記した碑と銅像が建てられています。墓は須賀・梅香寺跡にあり、剣の道を志す人たちが今も多く訪れています。



スポット

鹿島新當流の開祖

要石



スポット

鹿島神宮、深い鎮守の杜の最奥にひっそりと鎮座する、地震封じの「要石」(かなめいし)。ここは、太古から信仰の対象とされてきた場所でパワースポットとしても有名です。

祭頭祭



イベント

色鮮やかな祭衣を身にまとった、一団約15名が約2メートルほどある檜の棒を激しく束ねるように打ち合わせて進む勇壮な祭り。鹿島神宮の行事の中でも最も規模が大きい祭典です。

御船祭

鹿島神宮では数々の祭礼が催されますが、中でも12年に一度、午年にのみ行われるのが「御船祭」です。武甕槌大神の御分霊を祀った御神輿を載せた船団が、一の鳥居をくぐって千葉県香取市加藤洲まで水路にて向かい、水上に同じく香取神宮の神職を乗せた船団に歓待を受けた後に鹿島へと戻ってくる、絢爛豪華な国内最大規模の水上祭です。



イベント

12年に1度の水上祭

提灯まち・神幸祭



イベント

期間中は5台の山車が街中を練り歩きます。提灯まちは大きな青竹に無数の提灯を付け、その竹を推し立てながら、最後に鹿島神宮楼門前のかがり火に投げ入れるたいへん勇壮な祭りです。

古武道奉納演武大会



イベント

鹿島神宮では6月の第2日曜日を「武道の日」と定めており、武道に関係する様々な行事を行っています。特に剣聖塚原卜伝顕彰の事業である古武道大会はその中心行事になります。

もつ煮

鹿嶋のB級グルメといえ「もつ煮」。特に有名なのは、カシマサッカースタジアム内にある鹿島食肉事業協同組合の「もつ煮」。カシマサッカースタジアムの各グルメで競われた「サントリーモルツメニューコンテスト」で優勝したこともあるほど。もつ特有の臭みが少なく、あっさりとした味わいで誰でも口にできるクセのない味は手間暇かけて作られた証です。



グルメ

あっさりとしたクセのない味わい

はまぐり祭り

毎年12月に、鹿島灘はまぐり祭りが開催されます。当日は、冬場に旬を迎える「ぶりぶりの極旨はまぐり」を海鮮バーベキュー、潮汁や漁師直伝のはまぐりカレーで楽しむことが出来ます。また、はまぐりの直売、鹿島灘で水揚げされた地魚の模擬セリや鹿嶋だこなどの即売会では、威勢のいい掛け声が会場を盛り上げます。



イベント

鹿嶋の旬を食べよう!

潮来市

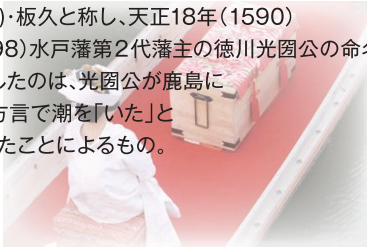
ITAKO City

■概要／人口：**27,950人**

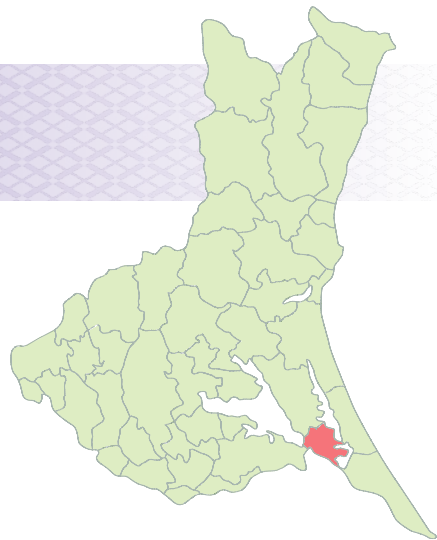
年間観光入込客数：**1,730,900人**

■由来／古くは伊多久(いたく)・板久と称し、天正18年(1590)板久、元禄11年(1698)水戸藩第2代藩主の徳川光圀公の命名で潮来と改称。潮来としたのは、光圀公が鹿島に潮宮があり、常陸の方言で潮を「いた」と読むことに興を覚えたことによるもの。

■市の花／あやめ
木／ボブラ
鳥／よしきり



水郷いたく大使「あやめ」



観光カレンダー

3月下旬～4月上旬	水郷潮来桜まつり
5月下旬～6月下旬	水郷潮来あやめまつり
7月下旬	延方相撲(鹿嶋吉田神社祭礼)
8月上旬	潮来祇園祭禮
8月中旬	水郷潮来花火大会

十二橋めぐり

天正7年(1579)、時の代官・吉田主馬亮の指揮により、新田開拓が始められ、現十二橋のある加藤洲は寛永3年(1626)に整地されました。隣家との往復のため設けられた橋が十二あるところから「十二橋」の名がつけられました。水戸黄門もこの地をよく訪れ、一説には「潮来出島のまこもの中に、あやめ咲くとはしほらしや」の歌も水戸黄門の作といわれています。



スポット

十二の橋を舟で巡る

道の駅 いたこ

高さ13mのピラミッド型屋根がシンボルの道の駅。うるおい館「虹工房」では、お土産品や限定キャラクターグッズが豊富です。新鮮市場「伊太郎」では、新鮮野菜や畜産物及び加工品等を低価格で直売。その他、潮来産のお米や食材を使った手作り料理を楽しめます。



スポット

潮来の食が堪能できる

長勝寺

文治元年(1185)、源頼朝によって武運長久を祈願して創建された臨済宗の名刹です。その後、水戸藩第2代藩主徳川光圀公が再建しました。また境内には松尾芭蕉が鹿島紀行での帰路に詠んだ「旅人とわが名よばれんはつしぐれ」の句碑や、頼朝の菩提の為に寄進したといわれている銅鐘は国の重要文化財に指定されるなど、歴史の深さを感じることができます。



スポット

伝統的な美しさを再確認

あじさいの杜(二本松寺)



スポット

平安時代の初め天長年間(824～834)、慈覚大師円仁によって現在の潮来市茂木に創建されたと伝えられています。6月中旬～7月上旬にかけて、約100種1万本のあじさいが見事に咲き誇ります。

上戸川コスモス畑



スポット

水郷潮来の秋の訪れを告げるのが、この上戸川コスモス畑。1,000万本ものコスモスが、広大な畑を一面のピンク色に染めあげます。花が咲きそろった頃には、コスモスの摘み取りができます。

水郷潮来あやめ園

約500種類100万株の色とりどりのあやめ(花菖蒲)が植えられ、「水郷潮来あやめまつり」期間中には県内外から多くの観光客が訪れます。幕府の命によって行われた治水事業により、潮来は水運の要所として一気に栄えることとなりました。そんな水の都潮来では荷物の積み下ろしをする河岸が発達し、その河岸を作るために運河が発達しました。今では川を舟で巡りながら楽しむ十二橋めぐりが名物となっています。まつり開催期間中は「嫁入り舟」や「あやめ踊り」などのイベントも盛りだくさんです。また、手漕ぎの「ろ舟」も運航し、あやめの花とともに、情緒豊かな水の街・潮来を心ゆくまで楽しめます。



潮来祇園祭禮

素戔嗚熊(そがくま)の神社の例大祭で、八百有余年の歴史と伝統があります。毎年8月の第一金曜日から日曜までの3日間行われ、初日から最終日までさまざまな伝統行事が行われます。獅子舞をはじめ、山車によって行われる壮大な「曲曳き」、県指定無形民俗文化財に指定されている潮来ばやしなど、充実の内容で見所満載です。



イベント

歴史と伝統の祭禮

万燈会

潮音寺にて、毎年8月のお盆期間に行われる夏の風物詩、万燈会。先祖への感謝や世界平和を祈念して、宗派・宗教の枠にとらわれず誰でも参加することができます。期間中約1万灯の献燈がともされ、夕闇に沈む境内は、無数の光に彩られ、一瞬で幽玄な世界に。また、地元の子供たちによる「万燈アート」も見ごたえがあります。



イベント

幽玄な世界が広がる

延方相撲(鹿嶋吉田神社祭礼)

茨城県無形民俗文化財にも指定されている延方相撲。その昔、周囲の土地を巡った権利争いが、幕府の評定によって、延方村(水戸藩領)有利に解決したことを受け、感謝の意を込め、延方村鎮守である鹿嶋吉田神社に相撲祭を奉納したことに始まりました。江戸勸進相撲の格式をもって今日に伝えられ、古式の取り組み48番がとり納められます。



イベント

江戸時代から続く相撲祭

鯉のうま煮

利根川など豊かな水産資源によって、魚介類が豊富に採れる潮来では、昔から川魚料理も好まれてきました。特に鯉をじっくり煮込んだ甘煮「鯉のうま煮」は昔から潮来名物として親しまれてきました。鯉の輪切りを、濃い口醤油、酒、砂糖で味をつけ、アクを取りながら煮込む料理です。くせのない味で食べやすく、市内の各所で味わうことができます。



グルメ

昔ながらの郷土料理

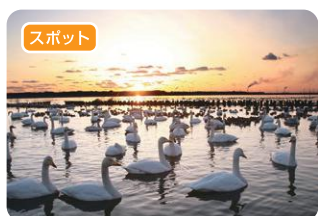
WaiWai ファンタジア



スポット

縁結びスポットとしても知られ、モニュメントには7つのハートが隠されています。夜間にはライトアップされ、もう一つのハートが浮かび上がります。全部のハートを見つけると恋の願いが叶うといわれています。

白鳥の里

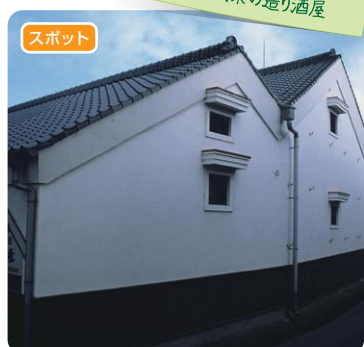


スポット

毎年、白鳥の里(北浦湖岸)には白鳥が飛来します。昭和56年の初飛来以来、例年50羽ほどその羽を休めるために訪れます。飛来期間は毎年11月下旬から3月上旬までになります。

愛友酒造

創業は文化元年(1804)、歴史と伝統ある造り酒屋です。昔ながらの白壁が美しい店舗では、無料で酒蔵見学、試飲をすることができます。大吟醸酒から梅酒まで豊富なラインアップを揃えています。その他、利き酒や直売コーナーも充実。日本酒通にはもちろん、日本酒初心者にも優しい老舗酒造です。



スポット

歴史ある潮来の造り酒屋

漬物



グルメ

農産物を生かした発酵食品も豊富。ごぼう漬けや黒蜜らっきょう、てっぱう漬け(白瓜の中に紫蘇で巻いた青トウガラシを入れ漬けたもの)など、地元の特色を生かした漬物が有名です。

手作りヨーグルト



お土産

「道の駅 いたこ」で販売している地元産の牛乳を使ったオリジナル商品。コクがあり、後味がとてもすすきりしているのが特徴です。

虹どら



お土産

保存料一切不使用のどら焼き。米どころ潮来市の米粉を使用し、しっとり上品な甘さが特徴的です。味はおぐら、さつまいも、くり、こしあんなど豊富に取り揃えています。

手焼きせんべい



お土産

手作りのおいしさにこだわり玄米を吟味し、天然醸造のたれを用い、一枚一枚を丁寧に炭火で焼き上げています。しょうゆ、ごま、かき餅、あげ餅、雪あられなど、種類も豊富です。

神栖市

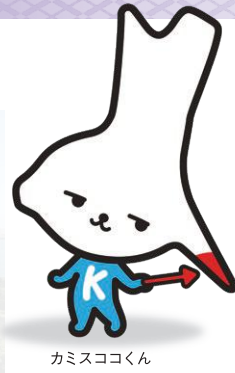
KAMISU City

■概要／人口:**95,544人**

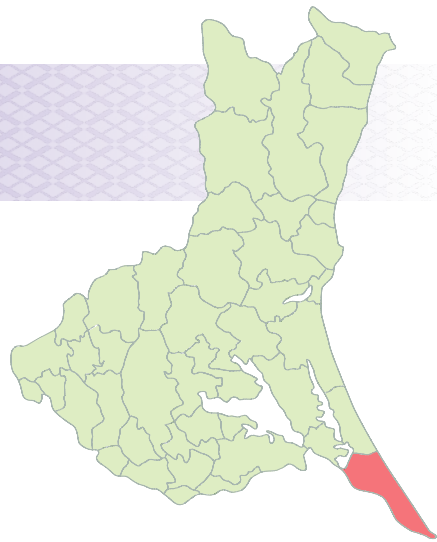
年間観光入込客数:**671,100人**

■由来／昭和30年、軽野村と息栖村が合併し神栖市が誕生しました。
その時の村名の候補は14ほどあったとありますが、
息栖神社と神之池にちなんで
神栖市と決定しました。

■市の花／センリョウ
木／マキ
鳥／ウグイス



カミスコくん



県の東南端に位置し、東の太平洋に開けた長い海岸線には、散策が楽しめるスポットが点在しています。夏には日川浜・波崎の海水浴場が開設され、花火や御輿、よさこいなど、祭りやイベントが盛んなまちです。市の北部には鹿島港と鹿島臨海工業地帯があり、製造品出荷額は県内1位。近年は工場夜景スポットとしても人気を博しています。農業では、温暖な気候を生かしたピーマンがブランド品として高い評価を受け、日本一の生産量を誇っています。

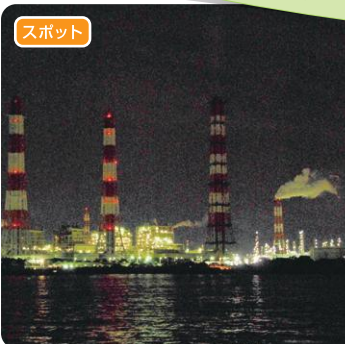
観光カレンダー

4月上旬～中旬	かみす桜まつり
7月下旬	みなと祭り
8月上旬	七夕まつり
8月下旬	きらっせ祭り
9月中旬	かみす舞っちゃげ祭り
9月中旬	神栖花火大会

港公園(工場夜景)

工場の夜景が楽しめる

広い園内には、8,000本もの樹木が植えられ、一年中緑に包まれています。港公園のシンボルは、高さ52mの展望塔。展望台に立つと、眼下には鹿島港や鹿島臨海工業地帯が広がり、その先には太平洋を臨むパノラマ。港内を航行する船も見えます。また、そばには港を周遊する遊覧船乗り場があります。



スポット

息栖神社

「東国三社」として名高い神社の一社

鹿島神宮(鹿嶋市)、香取神宮(千葉県香取市)とともに「東国三社」として名高い神社です。参道の途中には、俳人・松尾芭蕉の句碑が立っています。湧き出る清水は日本三霊泉の一つに数えられ、パワースポットとして注目を集めています。



スポット

歴史民俗資料館

スポット



神栖市の歴史・民俗等に関する資料を収集・保管し、展示。「水と人々の暮らし」をテーマとして、水との関わりの中で育まれてきた様子を実物資料や模型、映像などで紹介しています。

風力発電

スポット



市内の海岸線には、約40基の風車が立ち並び、近未来的な景色を望むことができます。神栖市特有の浜風を生かしたクリーンエネルギーを発電しています。

かみす舞っちゃげ祭り

よさこい演舞の祭典

神栖市のチームはもちろん、札幌YOSAKOIソーラン祭りで活躍している有力チームが全国から集まり、神栖の舞台を盛り上げます。祭りは2日間に渡って開催され、演舞コンテストや舞っちゃげナイト、総乱舞など、圧巻のパフォーマンスをお楽しみいただけます。また、神栖花火大会が同時開催され、神栖市最大級のイベントになっています。



イベント

神栖防災アリーナ

2019年6月オープン!

アリーナ、プール、トレーニングルームがあり、様々な競技種目、競技レベルの方々がスポーツを楽しむことができます。各種プロリーグの会場としても利用されます。



スポット

神栖市産ピーマンソフト



ピーマンの作付面積日本一の神栖市でピーマンが美味しいスイーツになりました。すっきりとした甘さとピーマンの美味しさが楽しめる一品です。

グルメ

海水浴場



スポット

環境省選定の「快水浴場百選」に選ばれた波崎海水浴場と、立ち並ぶ風車に広い砂浜の眺めの良さが人気の日川浜海水浴場があります。

行方市

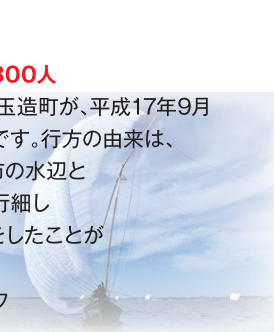
NAMEGATA City

■概要／人口:**34,430人**

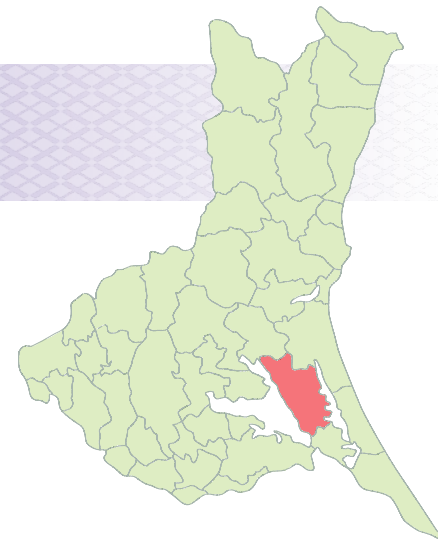
年間観光入込客数:**649,300人**

■由来／行方市は、麻生町、北浦町、玉造町が、平成17年9月2日に合併して誕生した市です。行方の由来は、ヤマトタケルノミコトが本市の水辺と台地の入り組んだ様子を「行細し(なめくわし)」という表現をしたことが始まりといわれています。

■市の花／ヤマユリ 木／イチヨウ
鳥／シラサギ



なめりーミコト



霞ヶ浦と北浦という二つの湖に挟まれた行方市は、その水際が50kmにも及ぶという水に面した市です。サツマイモ、レンコン、チンゲンサイなどは行方ブランドとして全国有数の生産量を誇ります。また、湖での漁業も伝統的に行われており、かつて利用されていた帆引き船は観光用として復活し観光客に大人気です。ワカサギ、シラウオ、ハゼなどの佃煮やナマズを使った加工品なども開発され、漁業資源の有効活用も図られています。霞ヶ浦の自然を知ることができる霞ヶ浦ふれあいランドや天王崎公園、高須崎公園、羽黒山公園などの公園も人気のスポットです。

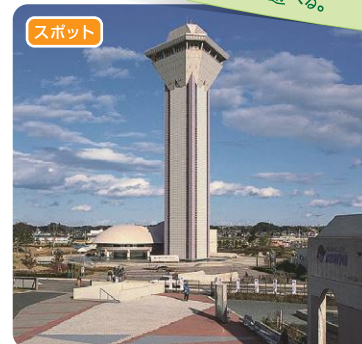
観光カレンダー

7月下旬	馬出しまつり
8月上旬	サンセットフェスティバル天王崎
9月上旬～12月上旬	観光帆引き船
11月上旬	行方ふれあいまつり

霞ヶ浦ふれあいランド

見て、食べて、遊べる。

高さ60m、霞ヶ浦360°の筑波山を望む絶景が人気の虹の塔展望台をはじめボルダリング・水遊びのできるどぶざぶ溪流など親子で楽しめる施設です。サイクリングロードも充実しており、レンタサイクルもご利用いただけます。



スポット

行方市観光物産館こいこい

行方台地の美味しいモノが集合

霞ヶ浦湖畔の好立地にあり、眺めが最高の直売所。行方市の雄大な土地と霞ヶ浦・北浦の恵みから生まれた安心・安全・新鮮な野菜を毎朝生産者の方が届けてくれます。他にも、ここでしか買うことのできない水産物・加工物・季節限定の産物もあります。ご当地限定名物である「行方バーガー」や「白帆焼き」は、こちらで食べることができます。



スポット

なめがたファーマーズヴィレッジ

日本初のさつまいもテーマパーク

廃校になった小学校の跡地を利用し、平成27年10月にオープンした体験型テーマパーク。さつまいもの加工工場ややきいもミュージアムだけでなく、新鮮な地元野菜が購入できるマルシェや野菜たっぷりヘルシーな料理が楽しめるビュッフェレストランなどもあります。四季おりおりのイベントも開催しており、大人から子どもまでおいしく楽しめる施設です。



スポット

西蓮寺

スポット



天台宗の西蓮寺は、延暦元年(782)に創設したと伝えられる古刹で、国指定重要文化財の「仁王門」や「相輪櫓」をはじめとする、数多くの文化財を持っています。秋には「常行三昧会」が行われます。

化蘇沼稻荷神社

スポット



御蔭神倉稲魂命を祀り文明10年(1478)、武田の地の守護神として大塚氏が創祀し、天文3年(1534)、武田氏によって再建されました。夏の例大祭には、「奉納相撲」や「巫女舞」が披露されます。

行方バーガー



行方名物「なめバックン」はパティにアメリカナマズの肉を使った行方バーガーです。ナマズのパティはチキンのようなあっさりとした仕上がりで、臭みもないためとても食べやすい一品です。

グルメ

鯉料理



行方市には、全国でも珍しいコイ専門料理店があり、霞ヶ浦産のコイを素材に、あらいうま煮、唐揚げ、握り寿司、コイこく、コイづくしのコース料理を提供しています。

グルメ

NAMEGATA ICE

自然派好きのあなたに

行方産の食材で、乳化剤・香料などの添加物を使用しない、素材の味を大切にこだわりのアイスです。フレーバーはサツマイモ、イチゴミルクなど厳選した6種類になります。



お土産

銚田市

HOKOTA City

■概要／人口：48,717人

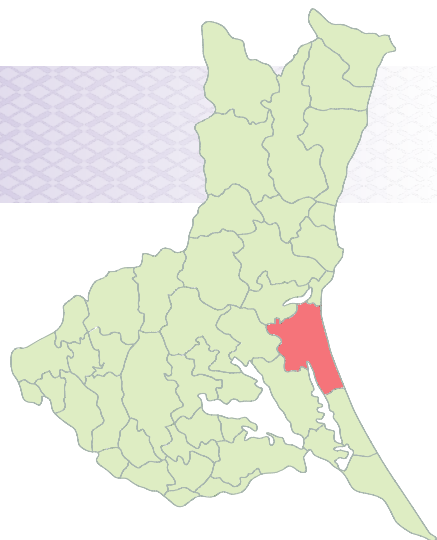
年間観光入込客数：1,121,200人

■由来／銚田の名は、16世紀にこの地におかれた神社に由来。銚神社の周囲に田んぼが広がっていたことから銚田と名づけたといわれています。

■市の花／ヒマワリ
木／サクラ
鳥／ウグイス



銚田市マスコットキャラクター ほこまる



関東平野の東の端に位置する銚田市は、北に涸沼、南に北浦、東に太平洋と水に囲まれた市域をもち、内陸部は平たんな大地となっています。水はけが良く温暖な気候に恵まれた農地では、メロン栽培が有名で味・収穫量とも日本一を誇っています。鹿島灘に面する大竹海岸銚田海水浴場には開設期間中ライフセーバーが常駐する安全な海として子ども連れに人気。日帰り温泉施設や健康増進施設が充実しており、市民の憩いの場となっています。また、銚田の味覚を買うことができるお店が数多くあり、新鮮な野菜を安く手に入れることができます。

メロン狩り

銚田市はメロンの産出額全国第1位のメロン王国。恵まれた環境と地元農家の愛情、徹底した品質管理のもと生産される銚田のメロンは、味・甘味・香りも最高です。銚田市では4月から10月まで、様々な種類のメロンが出荷されています。また、メロン狩りも楽しむことができます。農場でとった完熟メロンは、甘さ・香りが格別。産地でしか味わえない、本物の完熟メロンを味わえます。



スポット

銚田市はメロンの産出額全国1位

大竹海岸銚田海水浴場

大竹海岸銚田海水浴場は、茨城のゴールドコーストとも呼ばれ、遠浅で長い海岸線を持つ海水浴場です。海水浴期間中はライフセーバーが監視していますので、小さなお子様連れのご家族も安心して遊ぶことができます。



スポット

なだらかに続く浜辺は茨城随一！

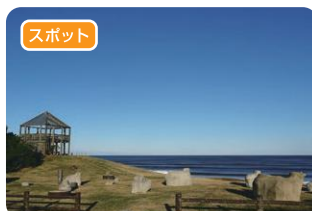
いちご狩り



スポット

銚田市は、水はけが良く温暖な気候に恵まれた農地。メロン狩りはもちろん、イチゴ狩りもシーズンになると、たくさんのお客様が訪れます。

鹿島灘海浜公園



スポット

太平洋を望む展望台やボードウォークのほか、遊具広場やドッグランなど、遊びどころが満載。敷地内にはレストランや売店もあり、地元食材を使用したお食事やお土産を提供しています。

温泉



スポット

銚田温泉はちょっと黒っぽいナトリウム塩化物炭酸水素塩泉が特徴。神経痛や関節痛に効果があるといわれています。また銚田当麻の郷温泉は透明でナトリウム塩化物強塩泉が特徴です。

銚神社御例大祭(銚田の夏祭り)



イベント

400年以上の古い歴史を誇る銚田の夏祭り。無病息災、交通安全、五穀豊稔の願いをこめて、神輿1基・山車8台が市内を練り歩きます。

観光イベント

銚田市の農産物や観光資源を県内外へ発信する一大イベント。毎年多くの方が訪れます。



イベント

銚田の美味しい＆寒いも堪能

冷やし焼き芋プレミアム「夢ごち」

ねっとりとした食感が特徴の茨城県産「紅はるか」。畑で完熟したものだけを長期熟成、1本1本丁寧に焼き上げ、冷凍保存してできあがった焼いもの糖度はメロンの3倍。半解凍ならシャリシャリ、完全解凍ならとろりとした食感が楽しめます。(茨城おみやげ大賞2016最高金賞受賞)



お土産

添加物不使用の天然スイーツ

鹿行地域周遊コース

1 観光帆引き船 ＜行方市＞



鹿行地域
周遊
モデルコース
GUIDE

2 行方バーガー ＜行方市＞



3 水郷潮来あやめ園 ＜潮来市＞



Guide
book

4 鹿島神宮 ＜鹿嶋市＞



茨城県の豆知識③

『豊富な農林水産物』



◆全国に誇る主要農林水産物(品目別産出額)

全国第1位

鶏卵、メロン、ピーマン、芝、レンコン、ほしいも、みず菜、チンゲンサイ、こまつな、切り枝、かんしょ、くり、セリ
えび類(内水面)、まいわし、はぜ類(内水面)、こい(養殖)

全国第2位

レタス、梨、はくさい、パセリ、落花生、ごぼう
しらうお(内水面)、さば類、あゆ

全国第3位

ねぎ、にら、スイートコーン、春菊、そらまめ、こんにゃくいも、みつば、らっきょう、ごぼう、もやし、しそ、マッシュルーム
しじみ

※農産物(令和元年)
※水産物は漁獲量で比較(令和元年)

※農畜産物(令和元年)
※水産物は漁獲量で比較(令和元年)

ワン ポイント

◆茨城のメロン

全国シェア約27%を誇る日本一のメロン産地。肉色の異なる様々な品種が栽培されていますが、主な品種として果肉が緑色のアンデスメロンや赤肉のクインシーメロンなどがあります。

◆茨城県産コシヒカリ

茨城県は関東一の米どころで、米の収穫量は全国第7位を誇ります。中でも「コシヒカリ」の作付面積は全国第2位を誇ります。

※令和2年度時点

※令和元年度時点